



大田区立清水窪小学校

かしわ

清水窪小学校の教育目標

- 自然や友達を大切にする子ども
- 心身ともにたくましい子ども
- よく考え、最後までやりぬく子ども

令和5年 3月号

90周年の節目の1年間を振り返って

校長 竹花 仁志

校庭の梅が満開となり、春の訪れを感じさせてくれます。先日行ったサイエンスフェスティバルには多くの保護者の皆様にご参観いただきありがとうございました。児童は1年間のSC科の学習で学んだことを張り切って発表していました。科学について自ら調べ知識を得るにとどまらず、人との交流を通して科学的な概念を深めることは、未来の科学を担う子どもたちにとって大切な力になると考えます。友達同士のコミュニケーション、教師とクラス全体でのコミュニケーション、専門家などの大人とのコミュニケーションという「サイエンスコミュニケーション」の取組を今後も重視してまいります。

今年、開校90周年として様々な取組を行いました。5月「航空写真撮影」、6月「90周年記念運動会」「バルーンリリース」、7月「和太鼓交流演奏会」、10月「開校記念集会」、11月「開校記念式典・祝賀会」「サイエンスマジックショー」、1月「90周年記念展覧会」。また、PTAイベント「夏の学校体験」「ミニ縁日」「焼き芋大会」「サイエンスショー」、さらに、わくわくスクールでは12日に「WBC観戦ツアー」を予定しています。このように、コロナ禍に十分に実施できなかったイベントを90周年を機に多くの行事を行うことができ、子どもたちにとって思い出に残る年になったことと思います。保護者アンケート「学校行事や児童会活動の工夫に努めている」の設問では、肯定的な回答が100%でした。様々な行事にご協力くださった保護者や地域の皆様に深く感謝申し上げます。

コロナも収束に向かい、5月からはインフルエンザと同様に感染法上の分類が5類に引き下げられます。学校では、4月からマスク着用が求められるようになります。また、3月の卒業式においてもマスクを着用せず出席することが基本となりました（歌や呼びかけの際はマスク着用です）。これまでの様々な制約が解除され、コロナ以前のように学校生活が活気に溢れ、充実した日々となるようにしてまいりたいと思います。

さて、3月23日には65名の6年生が夢と希望をふくらませ、清水窪小学校を巣立っていきます。おたサイエンススクールで培った力を基に中学校でも大きく飛躍していくことを心から願っています。

保護者や地域の皆様には、来年度も本校の教育活動にご支援ご協力を賜りますよう、引き続きよろしく願い申し上げます。

研究だより

今年度も無事、サイエンスフェスティバルを開催することができました。保護者の皆様、ご参観ありがとうございました。子どもたちは今年度学んできた学習内容から皆さんに伝えたいことを選び、まとめ、発表形態を工夫しました。どの子も聞き手に分かる言葉を意識した発表をしようがんばっていました。

来年度も、「未来の科学を担う子ども」を育てるために、教職員一同、研究に励んでいきます。どうぞよろしく願いいたします。

3月 学校行事予定

日	曜	行事予定	放課後
1	水	学級の時間 卒業を祝う会6年 午前授業1～5年 補習45年	○
2	木	たてわり遊び1～7班／読書タイム8～13班	○
3	金	たてわり遊び8～13班／読書タイム1～7班 保護者会(低)	○
4	土	校庭開放、土曜わくわくスクール(望遠鏡)	
5	日	校庭開放	
6	月	全校朝会 クラブ活動 補習3年	○
7	火	スキルタイム 避難訓練(地震・週内予告なし)	○
8	水	安全指導 社会科見学5年 補習46年	○
9	木	たてわり奉仕 1～7班/学級の時間 8～13班 B時程	○
10	金	たてわり奉仕 8～13班/学級の時間 1～7班 おわかれスポーツ大会56年	○
11	土	土曜授業 土曜補習教室3456年	×
12	日	校庭開放、わくわくスクール(WBC観戦)	
13	月	全校朝会 補習3年	○
14	火	スキルタイム	○
15	水	学級の時間 補習456年	○
16	木	学級の時間	○
17	金	読み聞かせ	○
18	土	校庭開放、土曜わくわくスクール(野球教室、レゴ)	
19	日	校庭開放	
20	月	卒業式予行56年 午前授業1～4年	○
21	火	春分の日	
22	水	学級の時間 給食終	○
23	木	卒業式	×
24	金	修了式 大掃除 3校時授業	×
25	土	大岡山さくらまつり(6年生希望者参加)	
26	日	春季休業日始(～4月5日)	

◆令和5年度の主な行事予定

- 4月 5日(水) 入学式前日準備(新6年)
 - 6日(木) 始業式・着任式・入学式
 - 7日(金) 給食始
 - 8日(土) 土曜授業
 - 10日(月) 保護者会(高学年)
 - 11日(火) 保護者会(低学年)
 - 20日(木)～28日(金) 個人面談
 - 5月 13日(土) 学校公開日 引き取り避難訓練
 - 6月 3日(土) 運動会 ※5日(月)振替休業日
 - 7月 7日(金) 和太鼓発表会
 - 8日(土) 土曜授業
 - 9月 8日(金)・9日(土) 学校公開日
 - 11月 17日(金)・18日(土) 学芸会
※20日(月)振替休業日
 - 12月 9日(土) 持久走大会
 - 2月14日(水)～21日(水) サイエンスフェスティバル
- ※その他は4月に配布する「年間行事予定」をご覧ください。

3月の生活目標

「寒さに負けず元気に過ごしましょう」

生活指導部

生活指導部では、月ごとの目標を立てて子どもたちの指導に当たってきました。1年間を良い形で終われるように、学校生活のルールや登下校時の安全指導、公共施設でのマナーの振り返りも行っていきたいと思います。

○生活目標を反省する。(チャイム、登下校、あいさつ、言葉づかい)

○そうじで、すみずみまできれいにする。

卒業おめでとう集会

特別活動部

2月24日(金)に、「卒業おめでとう集会」を行いました。1～5年生はダンスや応援団など各学年で考えた出し物を披露し、お祝いをしました。また、たてわり班ごとに書いたメッセージボードをプレゼントしたり、「たいせつなもの」を合唱したりして6年生に感謝の気持ちを届けました。5年生は、6年生からたてわり班活動や校旗を引継ぎ、6年生のように頼りがいのある最高学年になりたいと決意を述べました。

キャリア・パスポートの取組について

特別活動部

「キャリア・パスポート」の取組も今年で3年目となります。児童は、学期ごとに生活や学習の目標を立てることで、活動の見通しをもてるようになったり、活動後に振り返りをしたりすることで、自己を評価して、自身のキャリア形成に生かすために行っています。小学校から高等学校卒業までの12年間継続して行い、いつでも自身を振り返ることができるようにします。3学期末には、1年間の振り返りを行います。引き続き、児童への温かい励ましのお言葉を「家の人から」の欄にご記入をよろしくお願いいたします。

6年生東工大研究室訪問

「放射線のからだへの影響を分子の言葉で理解する」

6年担任



2月16日(木)の2, 3, 4時間目に、東京工業大学の松本義久先生の研究室を訪問しました。放射線が人体へもたらす影響やDNAの構造について、分かりやすくお話いただきました。実験室では、顕微鏡で細胞を見たり、細胞を培養したり保存したりする方法について実物を用いて教えていただきましたが、どれも非常に興味深い内容ばかりでした。子どもたちは、松本先生や学生の方に個別に質問するなど、放射線について高い関心を示していました。

5年生東工大研究室訪問

「歩行ロボットの脚のメカニズムについて!!」

5年担任



2月14日(火)の2, 3, 4時間目に、東京工業大学の岩附信行先生の研究室を訪問しました。歩行ロボットの「脚のメカニズム」についてお話を聞き、脚の関節に着目し、型紙で模型を作り、動く仕組みを学びました。子どもたちは、真剣に話を聞き、模型作成に取り組んでいました。少し、難しいところもありましたが、4名の大学生がフォローしてくださり、全員が模型を完成させることができました。

専科・給食室から

給食室から

栄養士

今年度の給食では、本校教職員の出身地の「郷土料理」を提供しています。その土地の産物を独自の方法で調理し、受け継がれてきた「郷土料理」を提供することで、子どもたちが地域の自然や文化等に関する理解を深めることを目的としています。東北・関東・関西・九州地方と様々な県の郷土料理を、給食に合った味にアレンジして仕上げます。給食提供日には、給食委員会の児童がその県の魅力や郷土料理を紹介することで、より興味・関心をもって給食を味わっている様子が見られます。

音楽室から

音楽専科

音楽室では、新型コロナウイルス感染症対策が緩和の方向になり、マスクをして合唱したり換気をしながらリコーダーを吹いたりと従来の授業の形が3年ぶりに戻ってきました。歌を歌うと子どもたちの表情がぱっと明るくなります。先月は、卒業する6年生のために「大切なもの」の練習をしましたが、マスクをしていることを忘れてしまうくらい素敵な歌声が聴こえるようになりました。6年生も小学校生活最後の合唱や合奏の練習に励んでいます。みんなで協力して作り上げる楽しさを思う存分体験できる日も、もう少しだと感じられるようになりました。

図工室から

図工専科

図工の時間では、みんなでアイディアを出し合って共有する時間と、一人で作る時間とを、切り替えて制作することを大切にしています。時間設定を決めて、互いの作品を見合う時を「ふらふらタイム」と呼んでいます。時間を分けて取り組むことで、子どもたちは悩んでいることを相談したり、一人で集中してじっくりと取り組んだりして、より良い作品を作ろうと一生懸命に取り組む様子が見られます。